

第351号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員

小松敏也 / 小原 望 / 山崎美佳 / 橘 匡廣
井垣 歩 / 矢野美由紀 / 新田篤史 / 鳥居良貴

臨床検査情報センター

URL <http://www.hamt.or.jp>

今月の内容

- 平成30年度 第24回兵庫県医学検査学会・第28回東播地区研修会を終えて 1
- 《各部局報告》 2~3
- 《行事予定表》 4~5
- 《会員グルメ情報》・お知らせ・《求人情報》 6~7

平成30年度 第24回兵庫県医学検査学会・ 第28回東播地区研修会を終えて

森 雅彦 (東播地区理事)

第24回兵庫県医学検査学会と第28回東播地区研修会を同時開催で2019年2月16日(土)に加古川総合保健センターで開催いたしました。はじめに、この度の開催に際し、ご案内などが行き届かず大変ご迷惑をお掛けしましたことをこの場を借りお詫び申し上げます。また、そうした中でも120名と多数の参加をいただき盛大な会となりましたことに厚く御礼申し上げます。

この度の開催にあたりご支援いただきました加古川総合保健センターの皆様はじめ、運営に多大なご協力をいただきました地区委員ならびに実務委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、学術奨励賞受賞記念講演では狩野春艶先生(兵庫医科大学病院)と早川郁代先生(神戸大学医学部附属病院)にご講演いただきました。

また、要望講演では滝野 寿先生(一・社 日臨技専務理事)から『医療法等の一部改正に伴う日臨技対処方針について』精度管理の重要性や、我々に求められる法制度の関わりについてお話いただきました。自施設での標準作業書(SOP)の作成は、肩肘張らずに自施設で実施している内容について作成することが大切であるといった内容でした。

特別講演では和仁洋治先生(姫路赤十字病院検査部長)に『病院検査(部)室で、まだ出来ること、これから取り組むべきこと』についてご講演いただきました。日頃の検査を実施する中で、実施した検査の報酬がキチンと取れているかなど医事職員と密に連携を取ることや、診療に応じた検査を発展・展開していく展望をもっていくことが重要であると述べられました。

一般演題発表では8演題がエントリーされ、発表分野もバラエティーに富んでおり、内容も興味深いものが多かったと思います。是非とも今後も研究を続け、新たな報告をしていただきたいと思います。

今後も会員の皆様の自己研鑽や情報交換ならびに交流の場となるように努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



森 理事



真田会長



狩野 春艶先生



早川 郁代先生



滝野 寿先生



和仁 洋治先生



各局報告

組 織

第46回 兵庫県医療職団体協議会研修会に参加して (2月10日)

兵庫県看護協会ハーモニーホールにおいて第46回兵庫県医療職団体協議会研修会が行われました。当日寒さの厳しい中126名の参加がありました。今回は栄養士会が主催で臨床検査技師会、放射線技師会、看護協会、歯科衛生士会、臨床工学技士会、言語聴覚士会、理学療法士会、作業療法士会、日本薬剤師会の計10団体の参加となりました。昨年と比べ参加する団体がさらに増えています。今回のテーマは「西日本災害を踏まえて「災害における各団体の取り組み・支援」」でした。

第一部は災害における取り組みについて各団体からの発表がありました。兵臨技からは、兵庫県災害医療コーディネーターでもある安部史生先生(神戸赤十字病院)が「災害時における兵庫県臨床検査技師会の受援と支援」について発表されました。兵臨技の取り組みとして、兵庫県内が被災した際の支援(全国からの受援体制の構築)、兵臨技の支援活動、平時の災害教育などを丁寧に講演されていました。臨床検査技師の検体採取が可能となったことで、例えばインフルエンザのスクリーニングから検体採取、検査といった一連の流れを臨床検査技師が一括して実施出来るようになりました。その結果、従来多くの職種が携わることで生じるパンデミックの抑制となり、さらに他職種が優先すべき他の活動に力を注ぐことが可能になります、といった具体的な提案も出され、非常に関心が持たれました。他団体では、放射線技師会は「急性期災害医療における診療放射線技術の関わり」、歯科衛生士会は「災害時における歯科衛生士の役割」、看護協会は「災害時における兵庫県看護協会の取り組み」、リハ三職種会は「リハ職種の災害支援」、臨床工学技士会は「県内に網羅する災害情報コーディネーター配置への取り組み」、薬剤師会は「災害時における兵庫県薬剤師会の取り組み」、栄養士会は「災害時におけるJDA-DATひょうごの活動」について、それぞれの災害時におけるニーズや、職能を活かした取り組み・支援の紹介および今後の課題が発表され、相互理解のよい機会となりました。

第2部は中山伸一先生(兵庫県災害医療センター センター長)の基調講演「わが国における災害時医療の進歩と課題～医療職の連携を図るには?～」が行われました。前半は阪神淡路大震災の振り返りから始まり、その後発足された災害拠点病院、EMIS(広域災害救急医療情報システム)、災害医療コーディネーター、DMATなどのお話がありました。



阿部 史生先生



中山 伸一先生



た。後半は「preventable death」をどう防ぐか、研修会参加者全員が共に考えていく機会にしましょう、というテーマで続けました。各医療職団体の活動が活発になる一方で、お互い何を考え何が出来るかが分からないと、抜けや重複が起こります。しかし、お互いの理解が深まれば現場での連携が可能となります。顔の見える関係でもある今回の研修会はその礎になると思いました。

今後、私たちがどのように繋がることでチーム医療の役割を果たせるのか、突然の非日常に対応するべく日常に近い運用を構築出来ているのか、改めて自施設のBCPを見直し、自分たちの足元を確認する必要があると感じた1日でした。（文責：広報部）

第46回兵庫県医療職団体協議会研修会
**西日本災害を踏まえて
 「災害における各団体の取り組み・支援」**
 第1期 12:00~14:20
**医療職団体の「災害」
 における
 取り組みについて**
 第2期 14:30~16:00
**基調講演『わが国における災害時医療の進歩と課題
 医療職の連携を図るには?』**
 日時 2019年2月10日(日)12:00~16:00
 会場 兵庫県香織協会ホームセンターホール (開演11:30)

公益事業

HIV・STI予防啓発キャンペーンを開催しました

坂本 秀生 (公益事業部長)

兵庫県臨床検査技師会は社会に果たす役割として、公益性の高い事業のひとつ、公衆衛生の向上及び衛生思想の普及啓発を目的とする事業を推進・展開しています。

今年度も「高校生向けHIV・STI予防啓発キャンペーン」としてHIV・STI予防の重要性を普及させることを目的に、女子高生を対象とした講演を行いました。

日時：平成31年1月21日(月)13:20~15:00

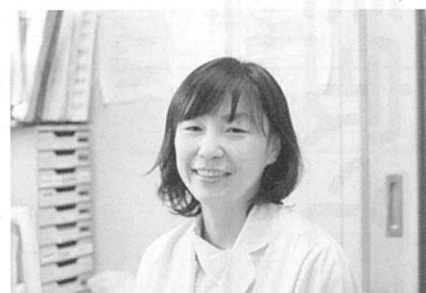
場所：玉田学園 神戸常盤女子高等学校

内容：性感染症を知って予防を
 ~HIV・エイズや子宮頸がんの予防について~

講師：原田 佳世子 先生
 (兵庫医科大学 産科婦人科学 講師)

講演要旨：高校生への性感染症、HIV・エイズや子宮頸がん予防啓発と臨床検査の紹介

当日は1年生94名と教師3名に聴講頂き、兵庫医科大学産科婦人科学の原田佳世子先生(日本産科婦人科学会専門医)より、性感染症は自覚症状がない事が多く、知らない間に相手にうつすこととお話し頂いた。ついでエイズとHIVの基本的な知識、HIV検査の重要性も伝えて頂いた。さらに子宮頸がんについて解説して頂き、子宮頸がんはヒトパピローマウイルスによる感染で、すべての女性の8割が一生に一度は感染する事を伝えた。しかし、子宮頸がんになるまでには、数年から十数年かかり、定期的な子宮頸がん検診をうけ、早期発見なら治療可能と説明頂いた。最後に兵臨技の澁谷理事より、各種検査を臨床検査技師が行うこと、臨床検査技師になるための方法も伝えた。



原田 佳世子先生



熱心に説明を聞く高校生



会員グルメ情報

数珠つなぎ

[26]

上岡 英樹会員 (JCHO 神戸中央病院)

みなさんこんにちは。今回は神戸市北区からのお届けです。

神戸電鉄北鈴蘭台駅からJCHO神戸中央病院を目指して5分ほど歩き(どっぴり坂道ですが)病院への最後の曲がり角をまがる所に「たぬき屋」があります。住宅街の中にあるそば自慢の和食処です。今回はこのお店を紹介いたします。

郊外の閑静な住宅街の中のお店です。そうそう混雑しているわけではありませんが、常連や近所の人とはともかく、口コミの評判で地域の人、少し遠くの方も来店されているそうです。それと、病院職員も。駐車場もありますので、車でのお越しも大丈夫です。

本場信州戸隠のそば粉を使用し、注文をいただいてからの準備になりますので、15分くらいはかかるとお思います。お品書きにもその旨の案内が示されていますので、それでもという、おそば通のお客さんが注文しているのだとお思います。もちろん待った甲斐ありの本当においしい戸隠そばが堪能できますよ。

ただ、そんなに待てないという方もいるとお思いますので、今回はわたしのおすすめを紹介します。

ちなみにわたしが席について、「すみませーん、いつものお願いします」と言うと、カレー丼が出てきます。

ふっくらと盛られたごはんの上に、絶妙のとろみでカレールウが乗っています。真ん中にはお約束の生卵。お肉とねぎがアクセントを添えています。火傷をしないように気を付けて食べ始めてください。

完全和風だしのカレー丼です。メジカ、サバ、うるめ、三種の削り節をブレンドし、北海道は羅臼産の昆布と合わせて出汁を取られているそうです。

洋食としてのカレーライスもちろん大好きなのですが、たまには純和風だしのカレー丼はいかがでしょう。もちろんお食事処ですので定食をはじめ、他に多数のメニューがあります。当院へお越しの方はというのは変ですね。北区にお越しの方や、有馬街道(国道428号線)を通り抜けての行楽の際にはぜひお越しください。美味しいおそばや丼でひとときの「ほっこり」をお楽しみください。

住 所 神戸市北区惣山町2-3-8
 T E L 078-594-6846
 営業時間 午前11時より午後20時まで
 支 度 中 14時から17時まで
 定 休 日 金曜日



全景



店内



カレー丼



おろしそば



白挽きそば粉

お 知 ら せ

1 平成31年度 「子宮の日」 LOVE49キャンペーンin KOBE

子宮頸がん予防啓発キャンペーン

LOVE49
キャンペーン in KOBE

毎年4月9日は「子宮頸がんを予防する日：子宮の日」として記念日登録されており、この日を中心に日本全国で一斉に子宮頸がん予防・啓発アクションであるLOVE49キャンペーンが行われます。

毎年4月9日は「子宮頸がんを予防する日：子宮の日」として記念日登録されており、この日を中心に日本全国で一斉に子宮頸がん予防・啓発アクションである「LOVE49キャンペーン」が行われます。

日 時：4月7日(日) 13:00～16:00

場 所：須磨パティオ・大丸須磨店・駅前広場

2019.4.7(日) 13時～16時

会場：須磨パティオ・大丸須磨店・駅前広場

主催：子宮の日LOVE49キャンペーン兵庫県実行委員会

協力：神戸市交通局/株式会社OMこうべ

須磨パティオ専門店・大丸須磨店でお届けする無料コンサート、子宮頸がん予防トークショー & 健康フェア

コンサート&子宮頸がん予防トークショー&パネル展示

・演奏：Epicus Filio Duo & Ensemble / Muse Trinity

・トークショー：小宮清利監修部（財団会大久保麻理子院長、産婦人科医、兵庫県臨床検診学会会長）

・内藤子栄医師（兵庫県臨床検診学会、産婦人科医、検診指導員）他

・ナビゲーター：南出ゆ（クリエイティブコンサルタント・音楽プロデューサー）他

・パネル展示：顕微鏡を使った細胞標本観察コーナー

学生特別企画

・LOVE49KOBEC学生広報担当「とさわがり」による子宮頸がん予防フォーラム

健康フェア

・神戸学院大学「お元気でっCAR!」/献血・検便・検尿検査・基礎代謝測定・血液検査・歯の検診・歯のクリーニング

・兵庫赤十字血液センター/献血（当日受付）受付時間 10:00～12:00、13:15～16:00

・シスメックス株式会社/ソリューションセンター/血液検査機器の展示&説明

・兵庫県予防医学協会/乳がん検診（事前申し込み）検診時間 13:15～15:30

事前申し込み予約受付センター（TEL:078-871-7756）まで

※予約状況により当日受付できる場合があります。

スマサイ2019感謝祭 連携イベント

・服外ライブ&パフォーマンス / Ekuudo / ヒューマンノート / 平山ミナ / 神戸市立神戶橋高等学校ダンス部

2019.4.7
名谷

2 看護の日

日 時：5月11日(土) 10:00～15:30

テーマ：「看護の日-看護の心をみんなの心に-」

場 所：兵庫県看護協会会館

求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●医療法人伯鳳会 明石リハビリテーション病院

交 通：山陽電車「東二見」or「西二見」
下車 徒歩7分

採用条件：パート

業務内容：検体検査、生理検査、生化学、血液、
尿検査、外注処理 等

問合せ先：078-941-6161（担当 小寺）

●県立加古川医療センター

交 通：JR「加古川」下車 神姫バス16分
「加古川医療センター」下車

採用条件：①日々雇用職員

(8:45～17:30休憩1時間含む)

②日々雇用職員(9:00～13:00)

業務内容：超音波検査、生理検査

問合せ先：079-497-7000（総務課）

●神戸市立医療センター中央市民病院

交 通：神戸新交通ポートライナー「医療セン
ター(市民病院前)」下車 徒歩5分

採用条件：パート勤務

週5勤務、8:45～17:30(休憩1時間)

※業務内容や就業時間 応相談

業務内容：生理検査、採血業務

問合せ先：078-302-4321（病院代表）

臨床検査技術部 箕輪

日臨技、疾患別専門認定の構想

横地氏 コーディネート機能を発揮



日本臨床衛生検査技師会の横地常広副会長は2月17日、愛知県豊明市で県臨床検査技師会が開いた研修会で講演し、以前から宮島喜文会長が提唱している「臓器別・疾患別専門技師」認定制度について、従来の検査分野別認定をベースとした上で、広い視野で患者病態が把握でき、臨床現場で活躍できる臨床検査技師の育成が必要ではないかの認識を示した。



日臨技は、認定センターを通じて一般検査や認定心電など8の資格で計約3100人を認定し、ほかに、学会と共同で運営する認定資格もある。横地氏は講演で、認定資格を持つ検査技師は専門学会認定を含めも計1~2万人程度でまだ少ないとし、「自分の自信となる拠り所をもってほしい」と積極的な認定資格取得を促した。現在の資格認定は個人のスキルで診療報酬での評価は難しいとの認識も示した。

その上で「患者さんのそばで仕事ができるようなコーディネートを支

体とした認定制度」とし、検査分野別の各種認定制度を基盤として、患者の病態として捉えることのできる人材育成が必要との考えを示した。がん専門検査技師、生活習慣病療養、腎臓病専門技師を例示し、例えばがん専門検査技師は、超音波や病理の認定資格を持ち、さらに抗がん剤治療やカウンセリングなどを勉強して専門認定を受けるイメージを示した。

医療費は税が投入されているため国民や患者から認められなければ診療報酬上の評価を得るのは難しいとし、疾患別の認定資格をもって患者のそばで仕事をしていくことで「診療報酬(評価)も夢ではない」との見方を示した。

検査技師は「大きな分岐点に」

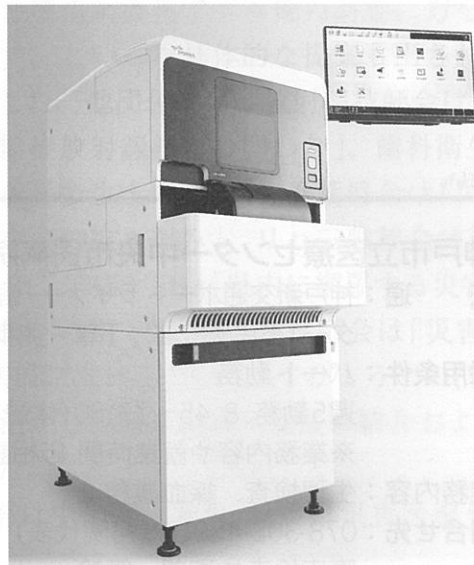
横地氏はまた、病棟機能分化や地域包括ケアシステムの進展、AI(人口知能)の活用、遠隔医療の進展など、臨床検査を取り巻く環境変化を指摘し、あらためて「(臨床検査技師は)大きな分岐点にある」と強調。「いままでも通りの検体数がいままでもどおりの仕事の内容で20年先に果たして存在するか考えて欲しい」と呼び掛け、検査技師は変革を迫られているとの見方を示した。これからはテクニシャンではなく医療人として患者のそばで仕事をする必要があると強調し、病棟業務や在宅医療などに積極的に進出するようあらためて

促した。

横地氏は従来から、検体に一部凝集があった時などに入院患者の再採血を検査技師が受け持つことを提案してきたが、同日の講演でも言及。検査技師が担当すれば再採血の必要性を患者にきちんと説明でき、さらに再度の凝集も回避できるとした。

この提案を聞き「いくつかの病院が始めてくれたが、患者さんへの利便性以上の効果があると言っている」とし、病棟のスタッフステーションに立ち寄った上で再採血に向かうことから看護部とのコミュニケーションが促進されるなどの効果も報告されているとした。

引用先：THE MEDICAL&TEST JOURNAL
2019年3月1日 第1456号



検体検査の更なる進化を求めて—

私たちが提供する4つのPower



Powerful productivity

処理能力を最大450テスト/時間にパワーアップさせました。設置面積が約50%になり、コンパクトに凝縮しました。* ※CS-5100との比較



Analytical Power

更に乳び検体の測定に強くなりました。ピエサーの改良により、必要な血漿量を抑えました。



Operational Power

お客様の声を取り入れ、検体の準備からデイリーメンテナンスに至るまで、使い易さに拘りました。



Powerful services

サポートプログラムと独自のネットワークサービス、そして全国約200名のサービスマンが、安心できる環境をお届けします。

全自動血液凝固測定装置

CN-3000/CN-6000

NEW

医療機器製造販売届出番号：28B1X10014000002 (CN-3000)

医療機器製造販売届出番号：28B1X10014000001 (CN-6000)

*外形、仕様等については改良のため予告なしに変更することがあります。

製造販売元

シスメックス株式会社 本社 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目5番1号 〒651-0073

(お問い合わせ先)

支店	仙台 022-722-1710	北関東 048-600-3888	東京 03-5434-8550	名古屋 052-957-3821	大阪 06-6337-8300
営業所	広島 082-248-9070	福岡 092-411-4314	札幌 011-700-1090	新潟 025-243-6266	千葉 043-297-2701
	横浜 045-640-5710	静岡 054-287-1707	金沢 076-221-9363	京都 075-255-1871	神戸 078-251-5331
	横浜 087-823-5801	岡山 086-224-2605	鹿児島 099-222-2788		
伊東地方総務部	03-5434-8565				



www.sysmex.co.jp